

TAKE FREE  
2012.5.6

PIECE IS PEACE  
高品質で美しく  
PRESENTS

レノファ山口FC VS ファジャーノ岡山ネクスト  
維新百年記念公園陸上競技場 13:00 KICK OFF

2012中国サッカーリーグ順位

順位	チーム名	試合数	勝点	得失点
1位	デツオーラ島根	4	12	+16
2位	富士ゼロックス広島	5	12	+14
3位	レノファ山口FC	5	12	+12
4位	三菱自動車水島FC	5	10	+7
5位	ファジャーノ岡山ネクスト	4	9	+10
6位	松江シティFC	5	9	-3
7位	NTN岡山	4	2	-8
8位	SC鳥取ドリームス	4	1	-9
9位	JXエネルギー水島	5	0	-18
10位	日立笠戸	5	0	-21

2012年5月3日現在 (暫定)

第40回中国サッカーリーグ 第6節 マッチデープログラム

# Match Day Program



**CHECK!! 注目**

**23 FW 中山元気**

多々良学園卒業後、11年間のJリーグ生活を経て昨シーズンからレノファに加入。抜群の存在感と揺るぎない信頼は今年も健在。前節の三菱水島戦後半、今季初ゴールとなる同点弾を決めてチームを救った。豊富な運動量とチームを鼓舞する姿勢は要注目!



**CHECK!! 注目**

**10 MF 福原康太**

誰もが認めるレノファの絶対的エース。今季は10番を背負い、ピッチを疾走、得点量産を狙う。前節の三菱戦でも鮮やかな先制ゴールを決めており、維新スタジアム初ゴールの最有力候補だ。

オレんぢの戦士たちが、**維新スタジアムに初見参。**  
心なごうに、**プロ集団を撃破せよ!!!**

発行:NPO法人山口アスレチッククラブ  
[レノファ山口事務局]  
〒753-0871 山口市朝田 1016  
TEL&FAX 083-920-7455  
<http://www.renofa.com>

今日の相手のファジャーノ岡山ネクストとは過去2年間の対戦すべてが激闘といっても間違いではない。過去全5試合の成績はレノファの3勝2敗(PK負け)であるが、PK戦以外はすべてが1点差。選手の意地と誇りがぶつかり合う激戦かつ好ゲームが期待できる、リーグNo.1のカートである。記念すべき維新競技場の第1試合目としてはこれ以上ない相手だ。

チームの雰囲気と調子は2連勝により上り調子。中山キムを中心とした攻撃陣と坂本、原田が制する中盤そして盤石の4バックが後ろから力強く守備を支える。河村監督就任から課題に捉える運動力と前へのエネルギーを適切にさせることなく90分間戦い続けることが勝利への近道だ。

いずれにしても僅差の戦いになることが必至。最後は気持ちでモノをいう一戦になるだけにホームの利を生かし、サポーターの応援を力に変えたいところだ。

JFL昇格のためには上位陣との直接対決は落とすことが出来ない極めて重要な戦となる。岡山の攻撃陣・守備陣の壁は高いが、その壁を越えてこそその先にJFLが見えてくる。

これ以上、負けられないGW3連戦の始まりは4月29日のJX水島戦。#23中山・#9キムを欠く中でいかに戦うかが焦点であったが、初スタメンの#5前田が攻守に渡って躍動すると、#24上垣が、今季初ゴールを含むハットトリックの活躍をみせて快勝。連携に不安は残すものの、チームの戦力の底上げを実感できた一戦となった。

続く5月3日の相手は三菱水島FC。昨季の開幕戦で土をつけられた苦しい思いのある相手だ。この日もキムはベンチ外、中山がスタメンに復帰した。序盤から試合はレノファのペース。先制後に逆転を許すも、中山、高田、中村のゴールで同点と逆転に成功。難しいレフリングに悩まされた面もあったが、それら乗り越えた末に掴んだ逆転勝利はメンタル的な充実へもつながったといえる。常に試合を支配し続けた今季のベストゲームであった。

記念すべき維新スタジアム初戦を白星で飾れ!

ゴールデンウィーク最終日の今日、レノファ山口が維新陸上競技場での記念すべき第1試合目を迎える。相手のファジャーノ岡山ネクストは、J2レノファの下部組織に位置づけられるチームであり、全選手がれっきとしたプロの集団。チームの顔ぶれはリーグでは突出しており、恵まれた環境で活動する岡山の戦力は中国リーグ随一であるといえる。過去2年間は成績が振るわず、戦力を整えた今季への決意は並々ならぬものがあるはずだ。

一方のレノファ山口は、開幕から5試合を消化した時点で4勝1敗。上位陣の力が拮抗しているだけに雨の中の戦いとなったホーム開幕戦、松江シティFCの取りこぼしが非常に痛い。チーム自体の調子は上向いてきている。

## 第4節の試合結果

第40回中国サッカーリーグ/第4節 AWAY  
4月29日(日) 13:30 岡山県笠岡陸上競技場

JXエネルギー水島 0 : 3 レノファ山口FC



【選手交代】  
■60分 #5 前田→#18 中村  
■69分 #13 児玉→#11 鷺木  
■72分 #19 坂本→#8 鈴木  
【得点】  
■39分 #24 上垣  
■75分 #24 上垣  
■81分 #24 上垣  
【警告・退場】  
■58分 #5 前田(ラフ)  
■70分 #11 鷺木(ラフ)  
■83分 #8 鈴木(反スポ)

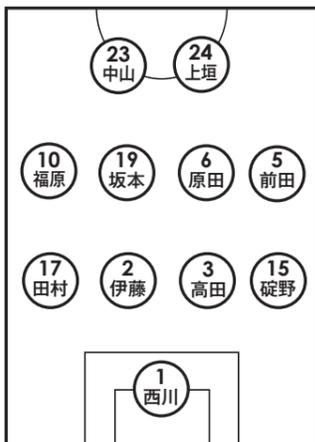
JX水島		レノファ
1	シュート	9
16	GK	6
2	CK	7
13	直接FK	11
7	間接FK	0
0	PK	0

4戦目の相手はJX水島。中山・キムを欠く中での厳しい戦いが予想され、序盤こそ重苦しい雰囲気。そんな空気を打ち破ったのは#24上垣。ツートップの一角を任せられ、体を張り続けた上垣が値千金のミドルシュートを決め先制。その後はJXの攻撃をシュート1本に抑えると上垣のハットトリックで快勝。勝ち点を伸ばした。

## 第5節の試合結果

第40回中国サッカーリーグ/第5節 AWAY  
5月3日(祝) 14:00 岡山県笠岡陸上競技場

三菱自動車水島 2 : 4 レノファ山口FC



【選手交代】  
■56分 #6 原田→#8 鈴木  
■62分 #23 中山→#11 鷺木  
■76分 #5 前田→#18 中村  
■84分 #24 上垣→#13 児玉  
【得点】  
■8分 #10 福原(#19 坂本)  
■59分 #23 中山  
■78分 #3 高田  
■84分 #18 中村(#8 鈴木)  
【警告・退場】  
■15分 #6 原田(反スポ)  
■17分 #15 碓野(ラフ)  
■39分 #3 高田(反スポ)  
■41分 #23 中山(異議)  
■53分 #19 坂本(反スポ)

三菱水島		レノファ
5	シュート	16
14	GK	7
0	CK	6
14	直接FK	20
5	間接FK	5
1	PK	0

2連勝を狙うレノファの前に立ちふさがったのは昨季の開幕で苦杯を舐めさせられた三菱水島。フレッシュで若い選手がひたむきにアグレッシブにプレーする強敵だ。しかし、ゲームは終始レノファのペースで進む。鮮やかな崩しから福原が先制点を挙げると、セットプレーから逆転を許すも後半に落ち着いて同点、逆転、ダメ押し。理想的な展開で勝点3を掴んだ。

